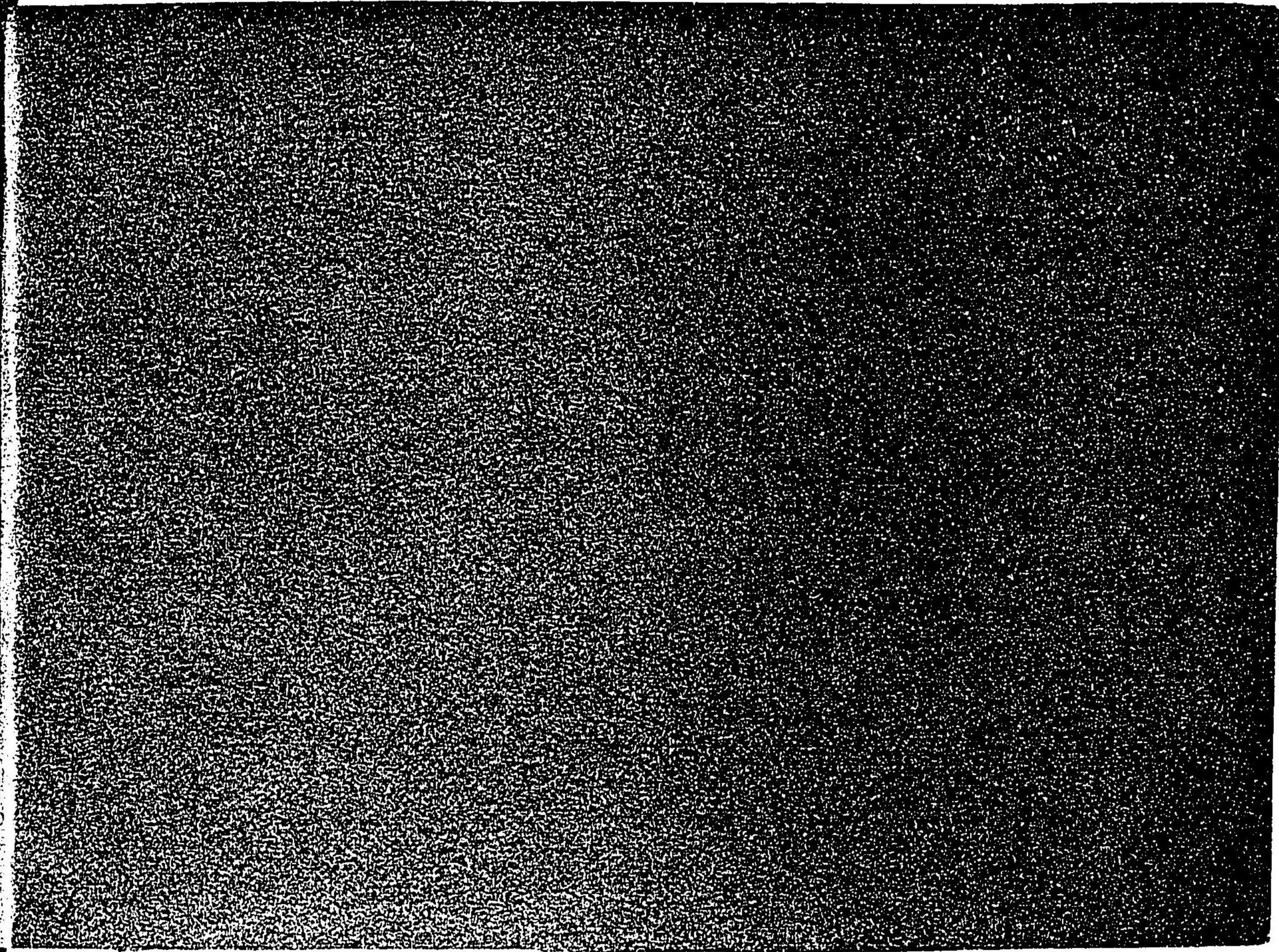


94  
679



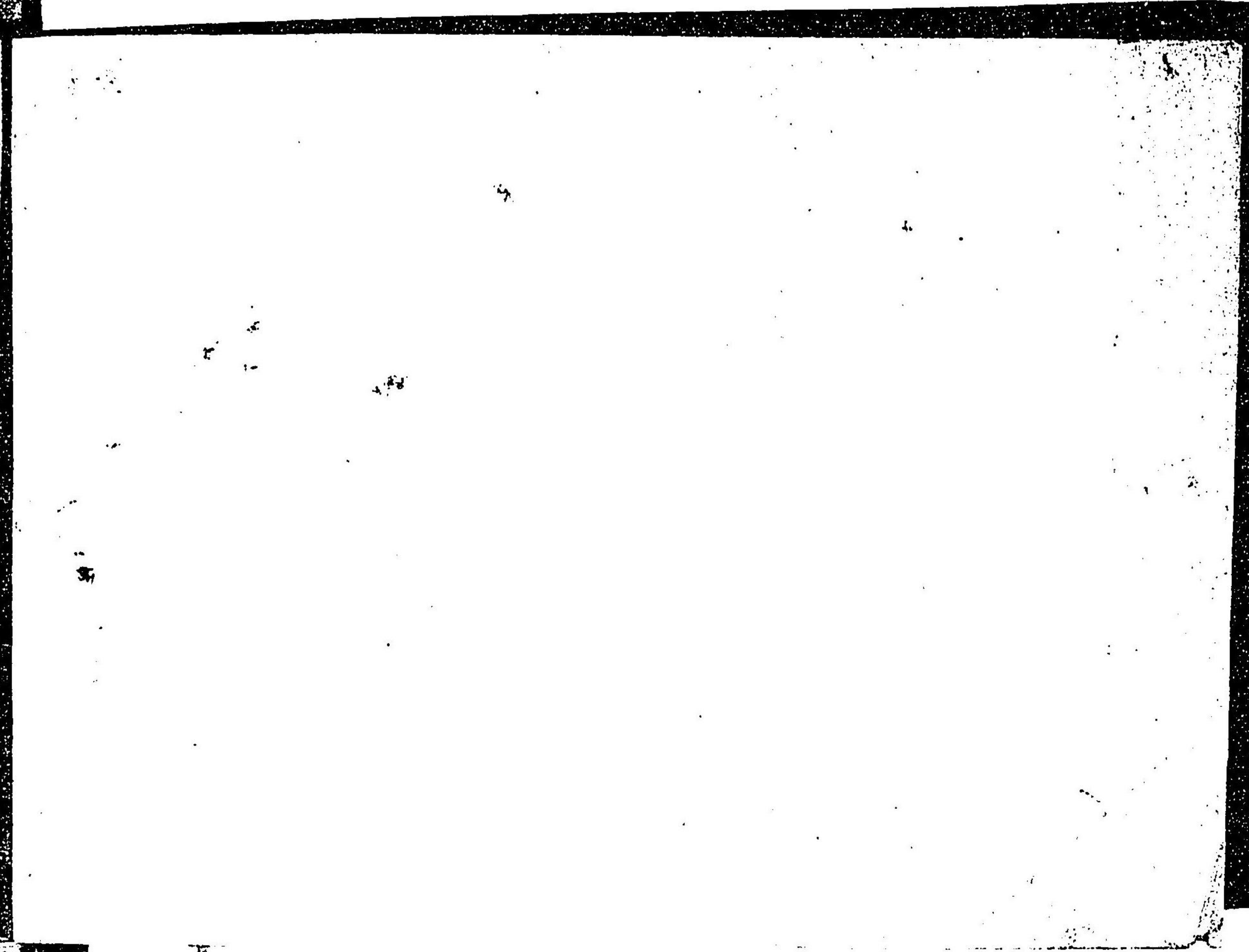
如  
有  
白  
雪  
如  
有  
白  
雪  
如  
有  
白  
雪



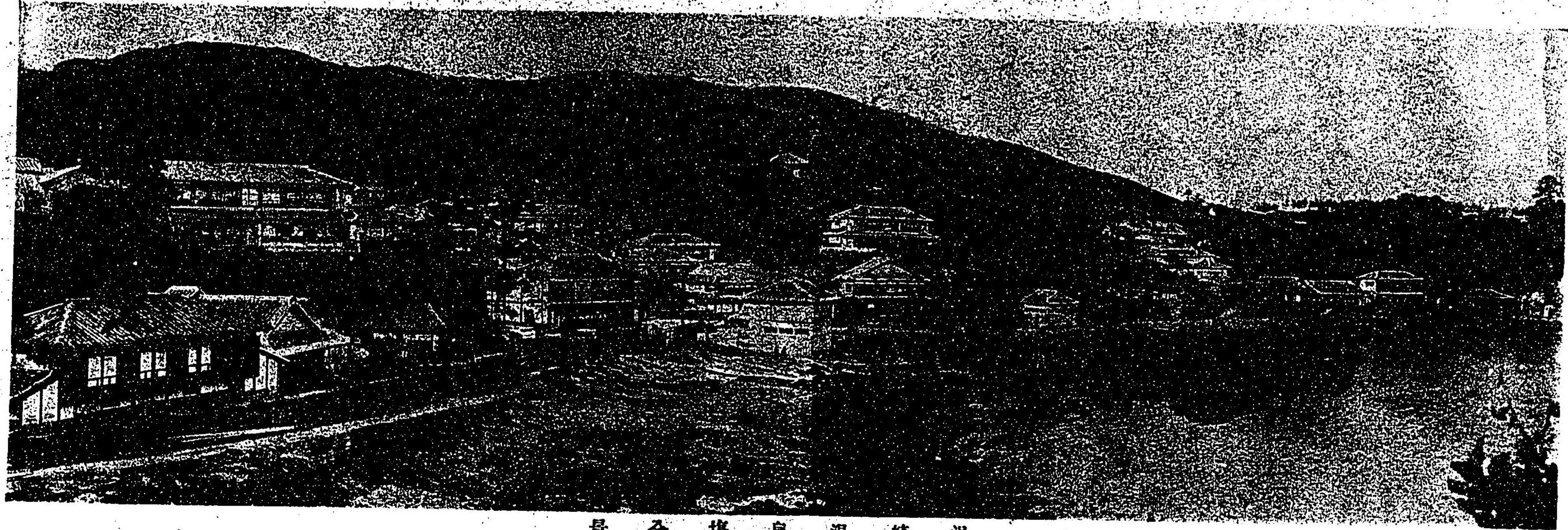




湯崎溫泉全場景

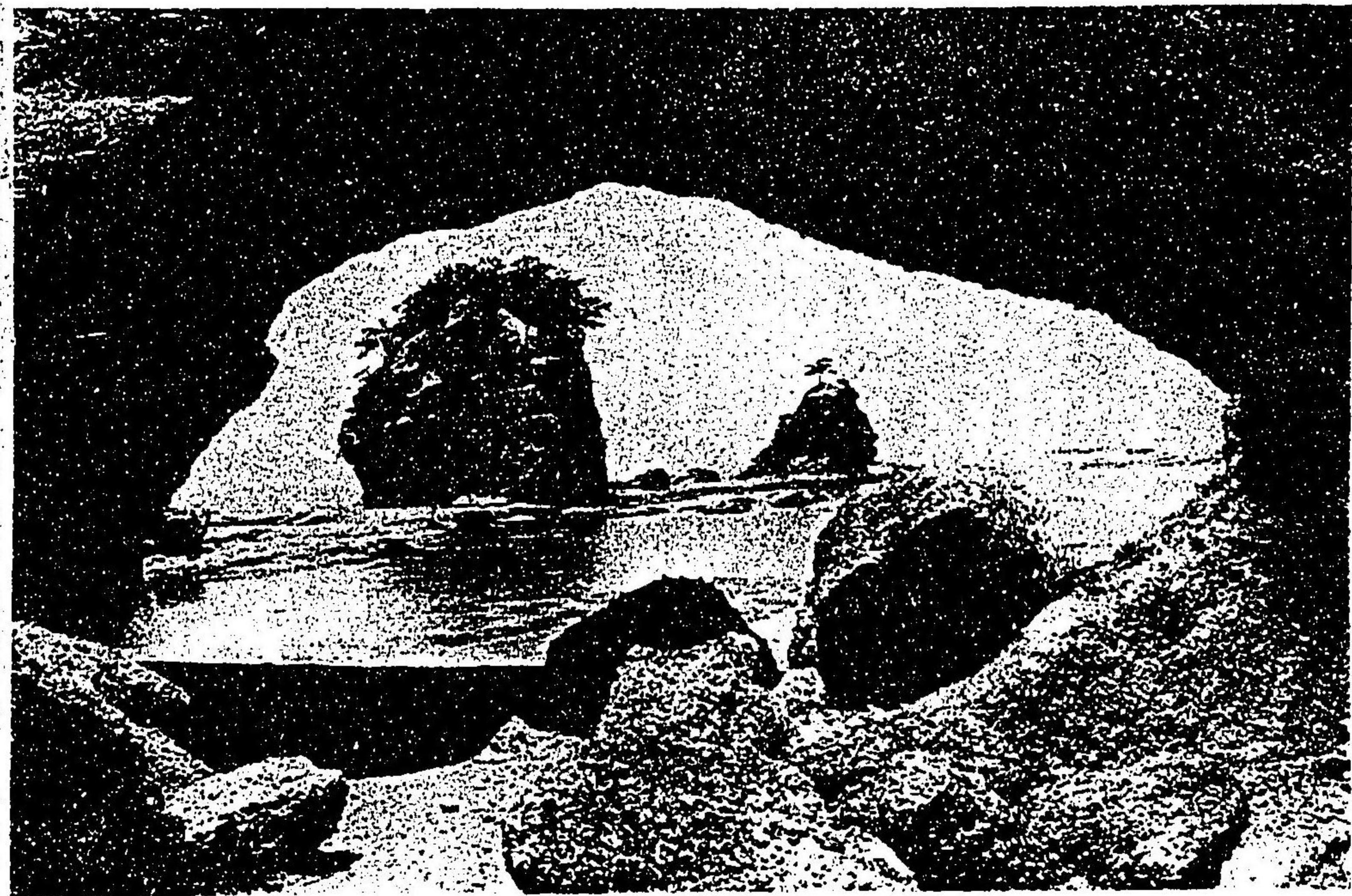






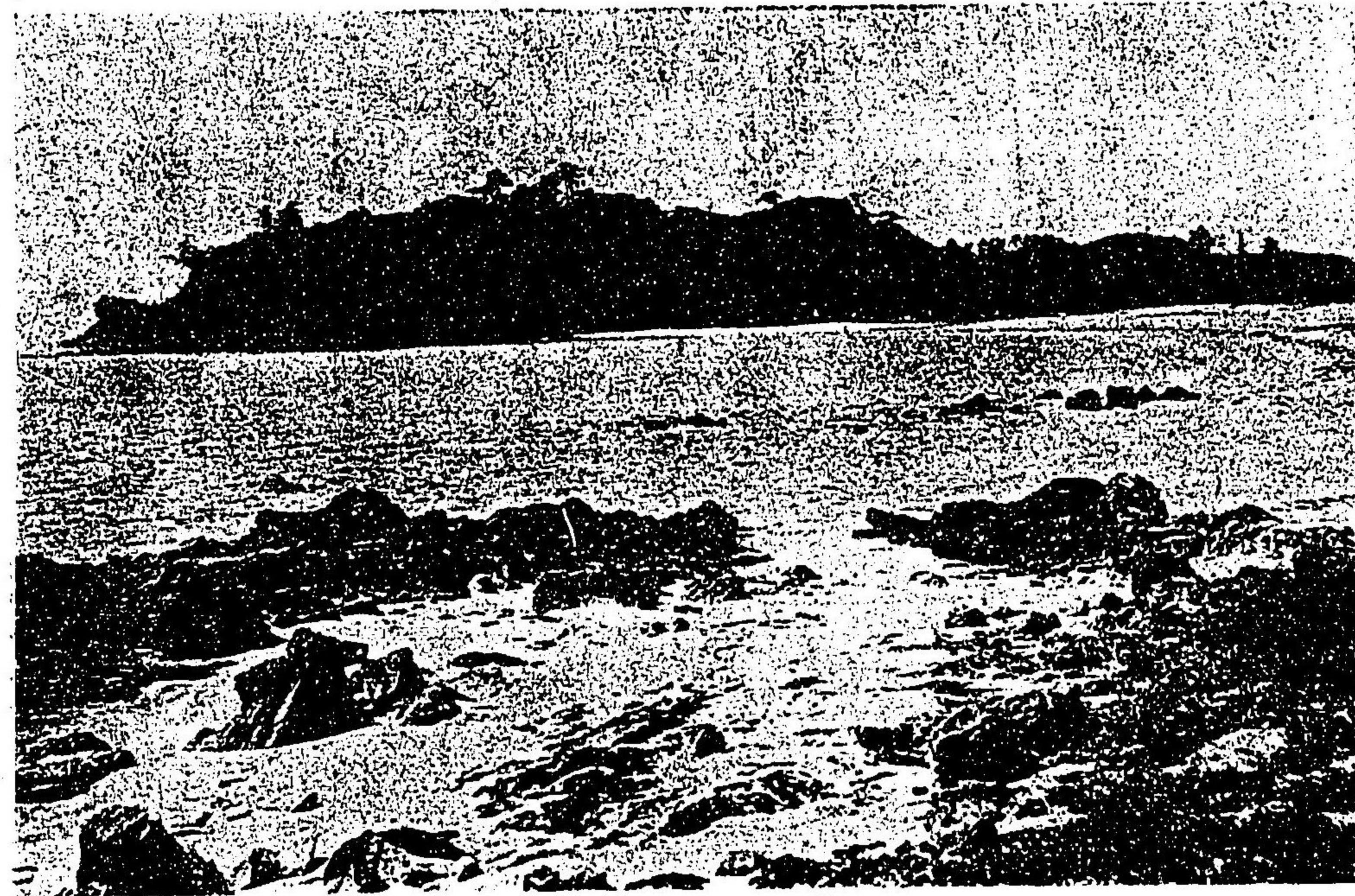
湯 綺 温 泉 場 全 景



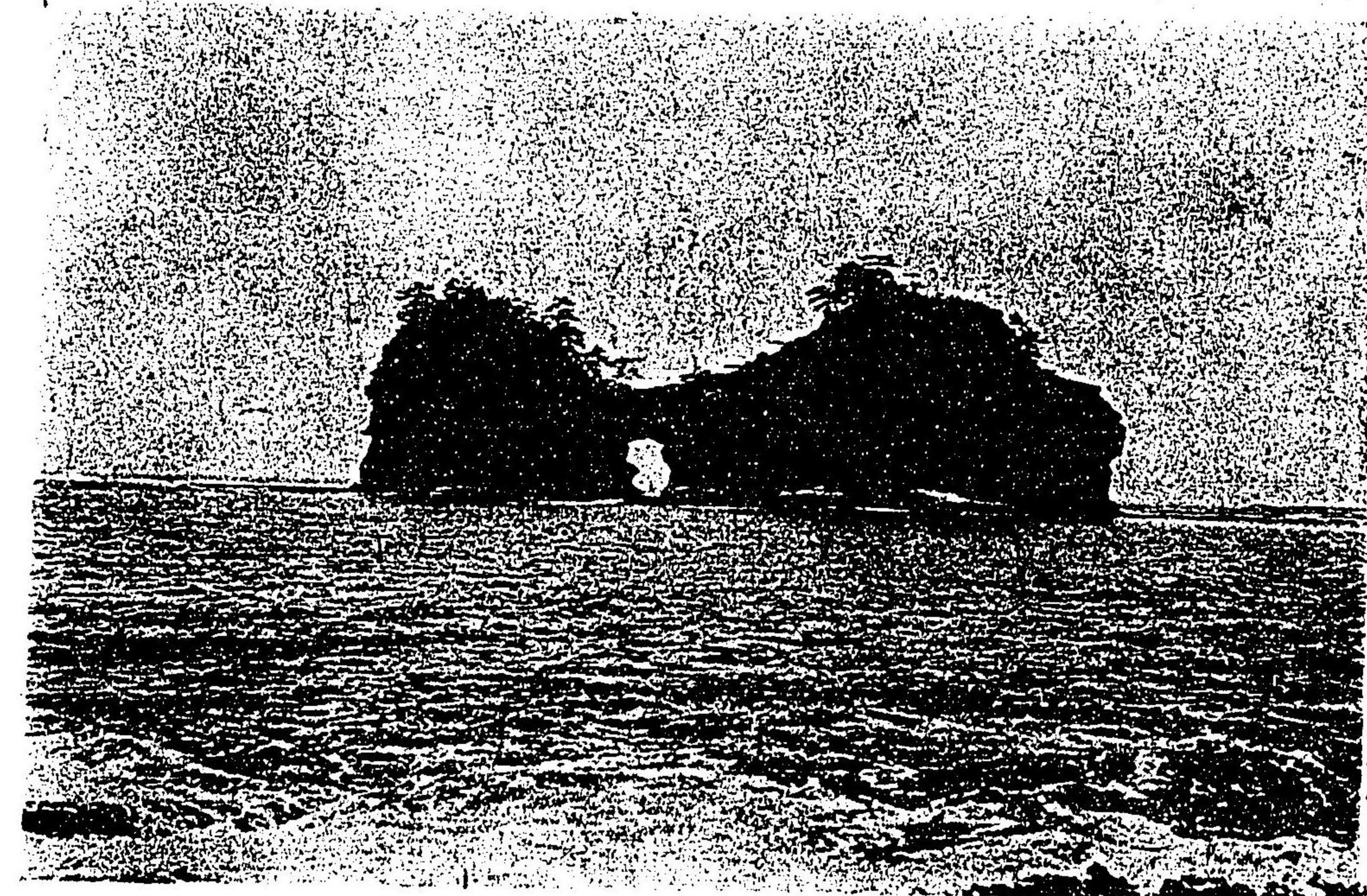


湖番所の端石門





山船御と涙の紗白



島月圓





むろを涙の紗白りよ湯の崎



林 王 薬



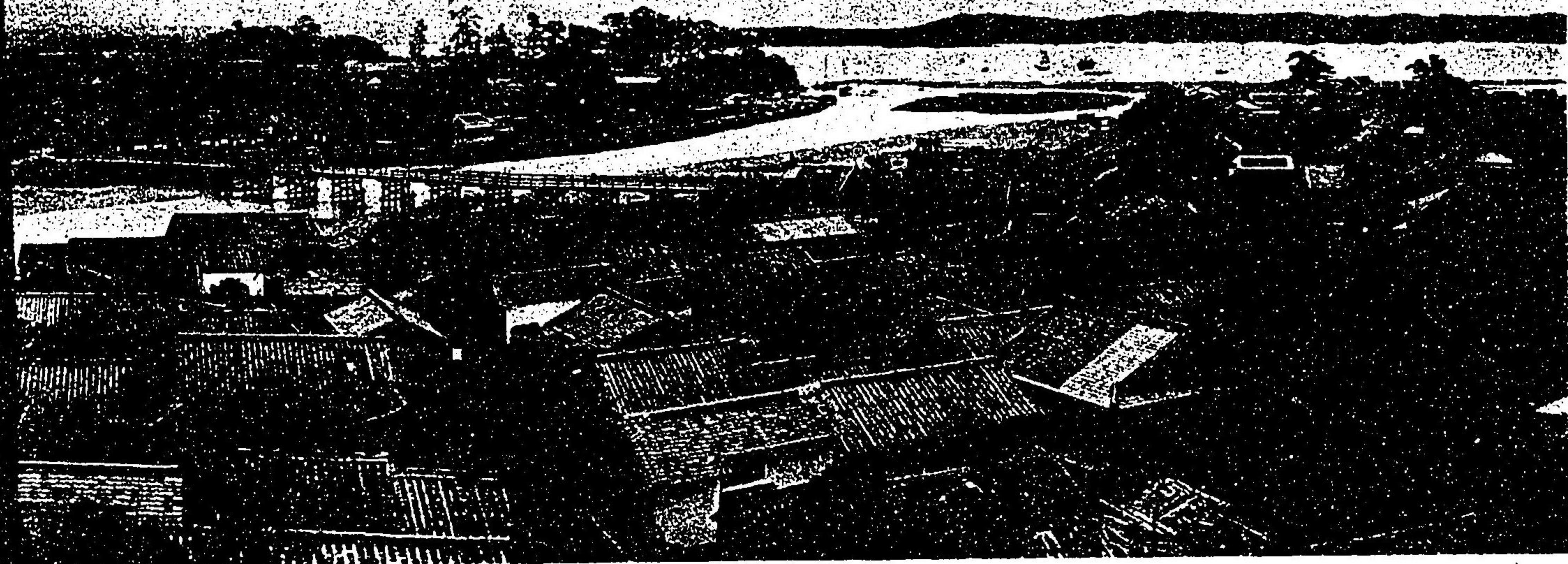


壁 段 三



湯 の 崎



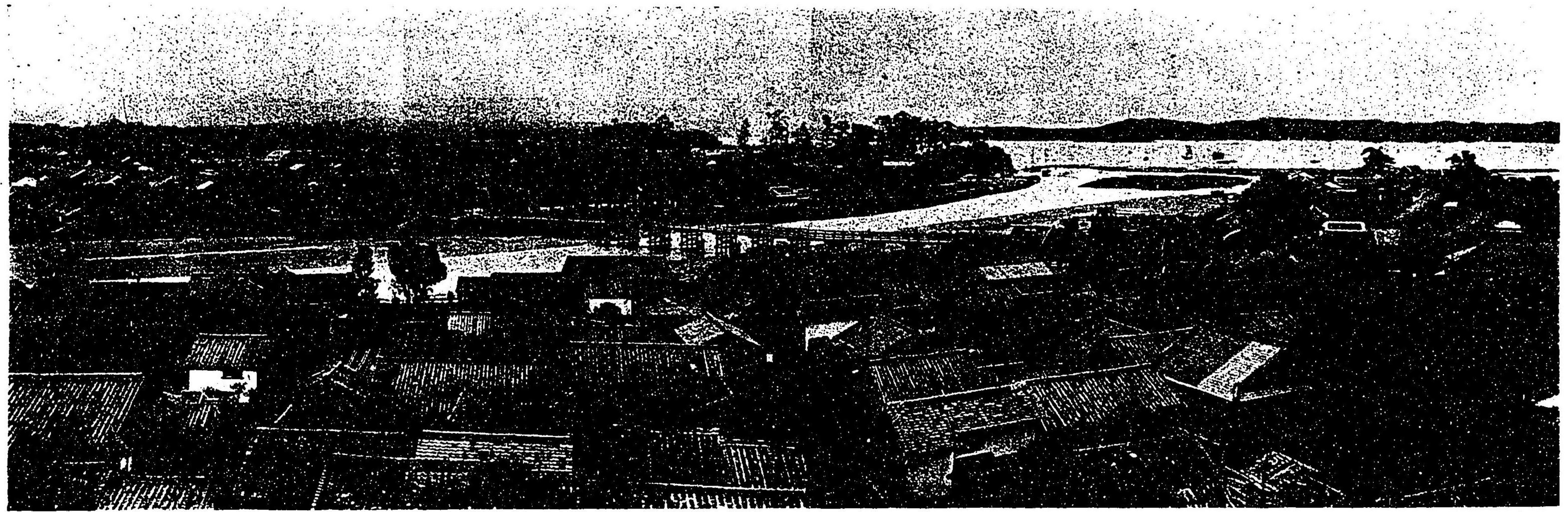


町邊田

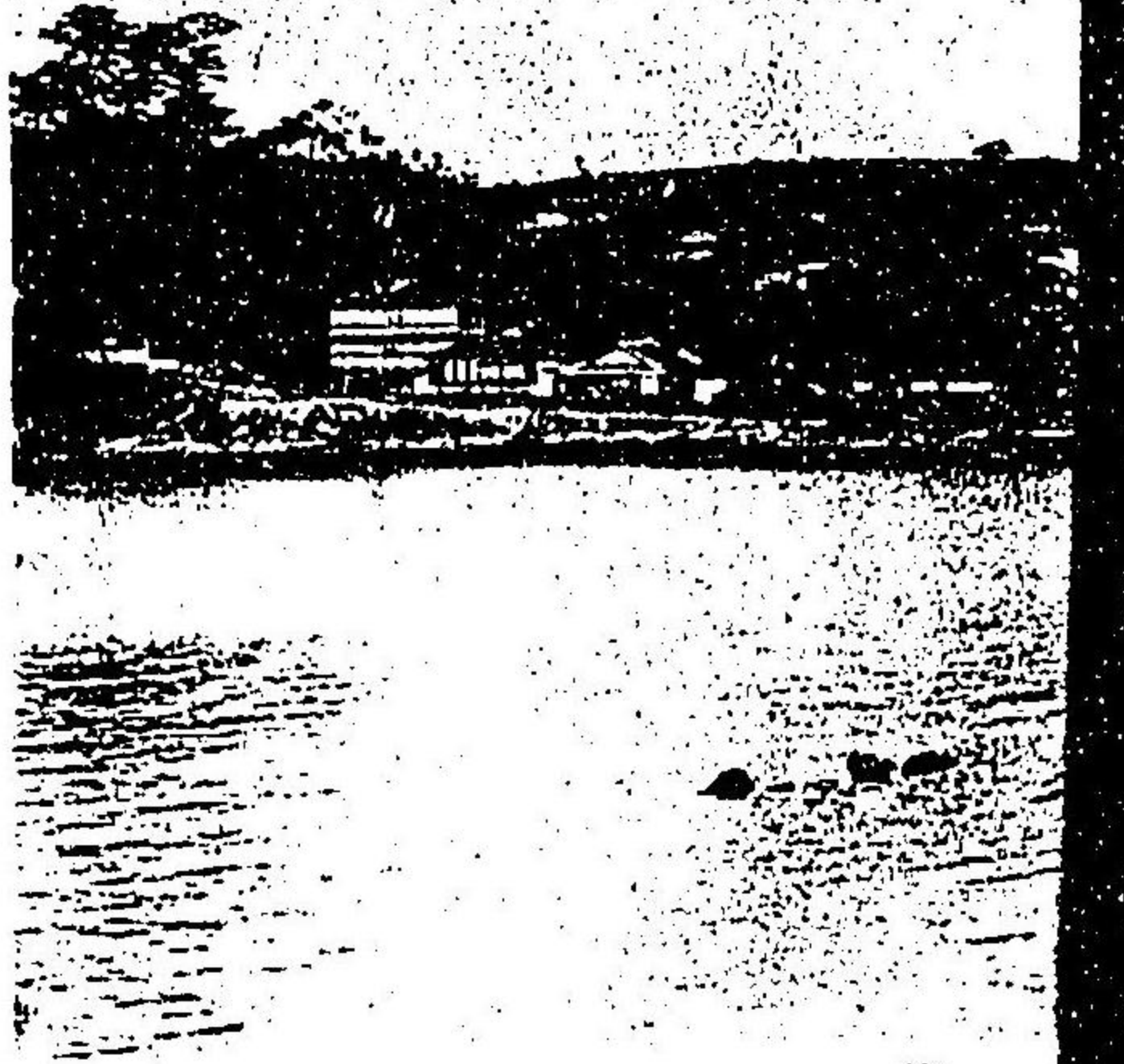


湯崎溫泉泉場





町 邊 田



場





浪 石 山





鬼橋巖



三疊崎海水浴場



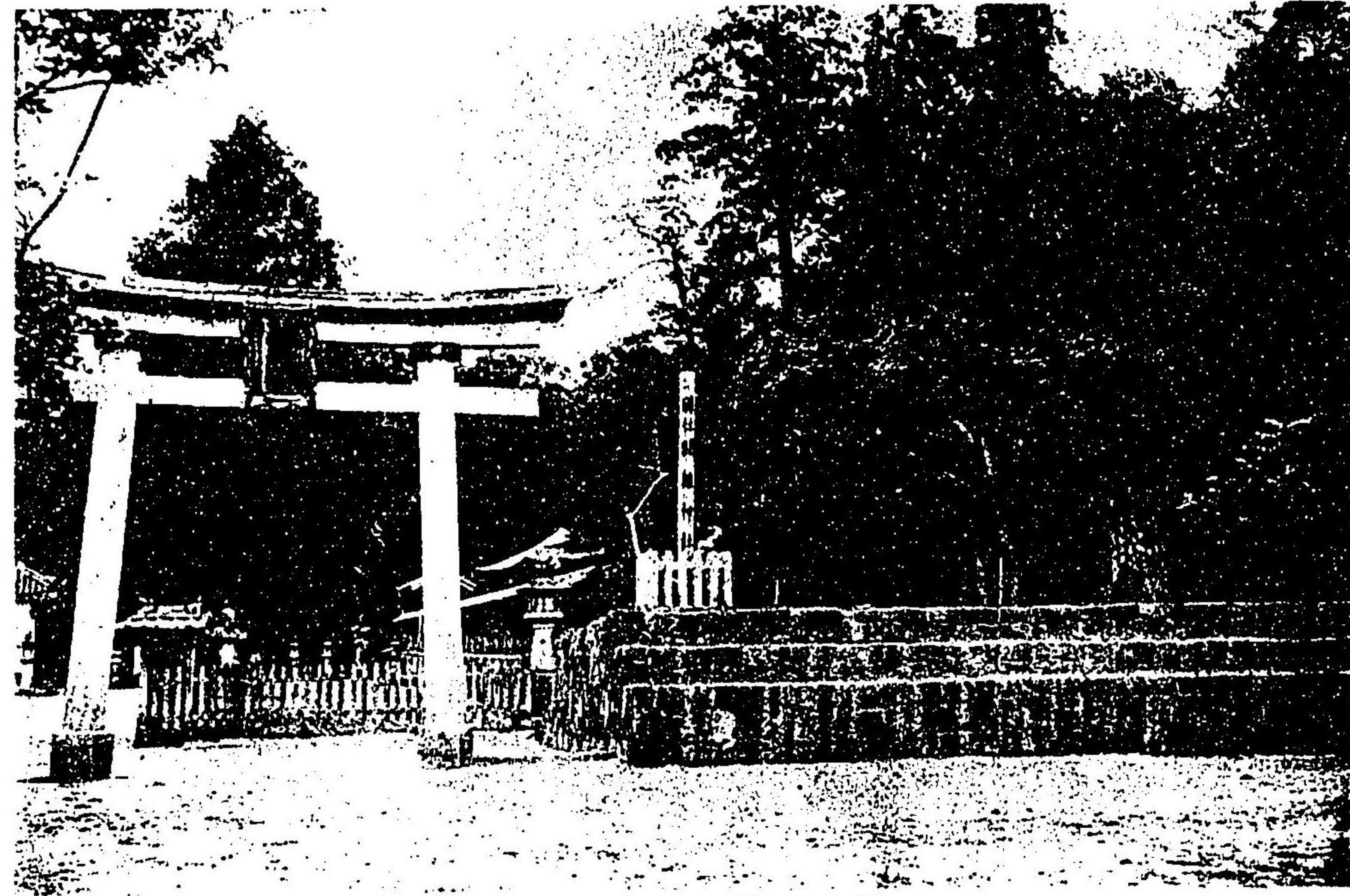
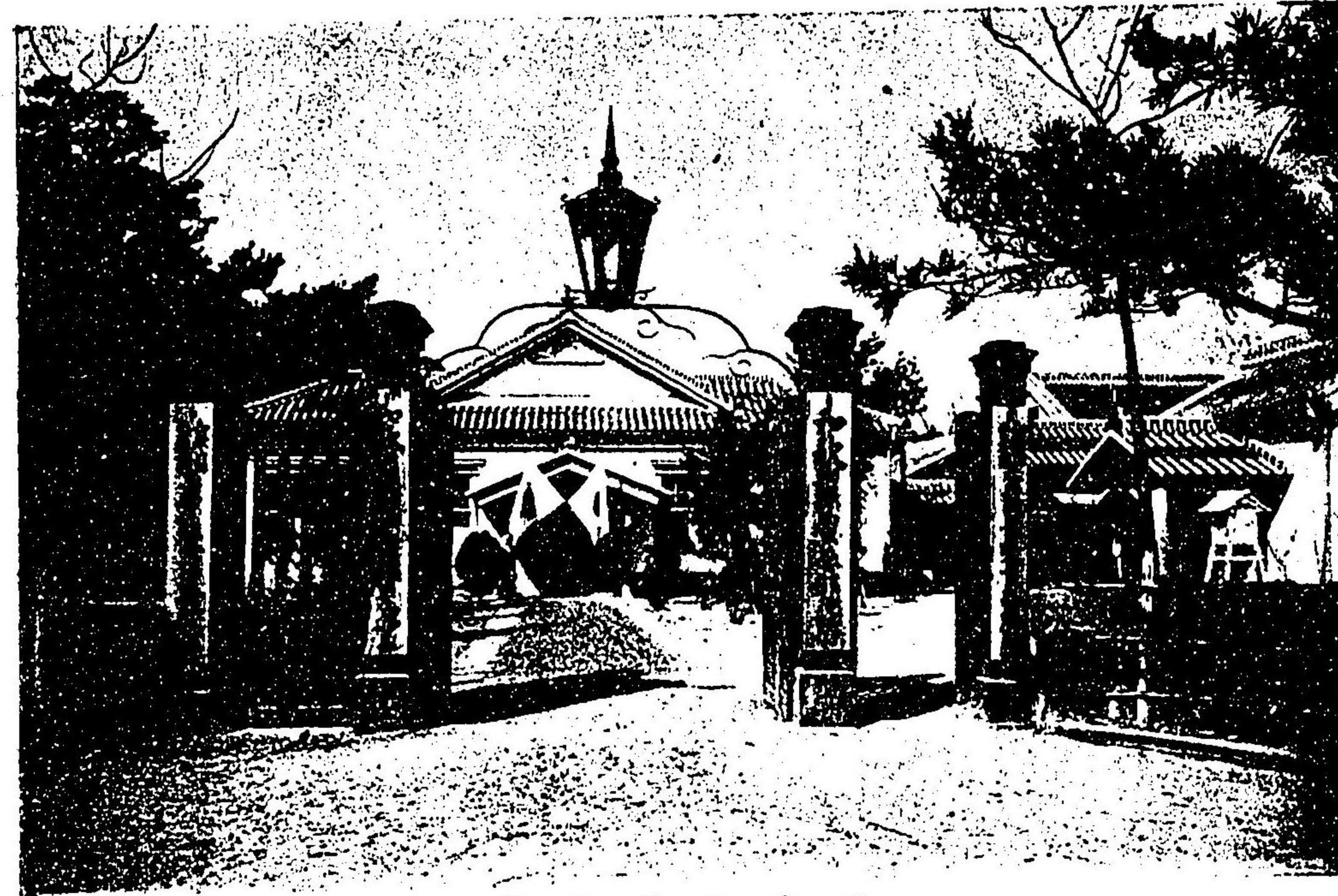


圖 雞 神 社

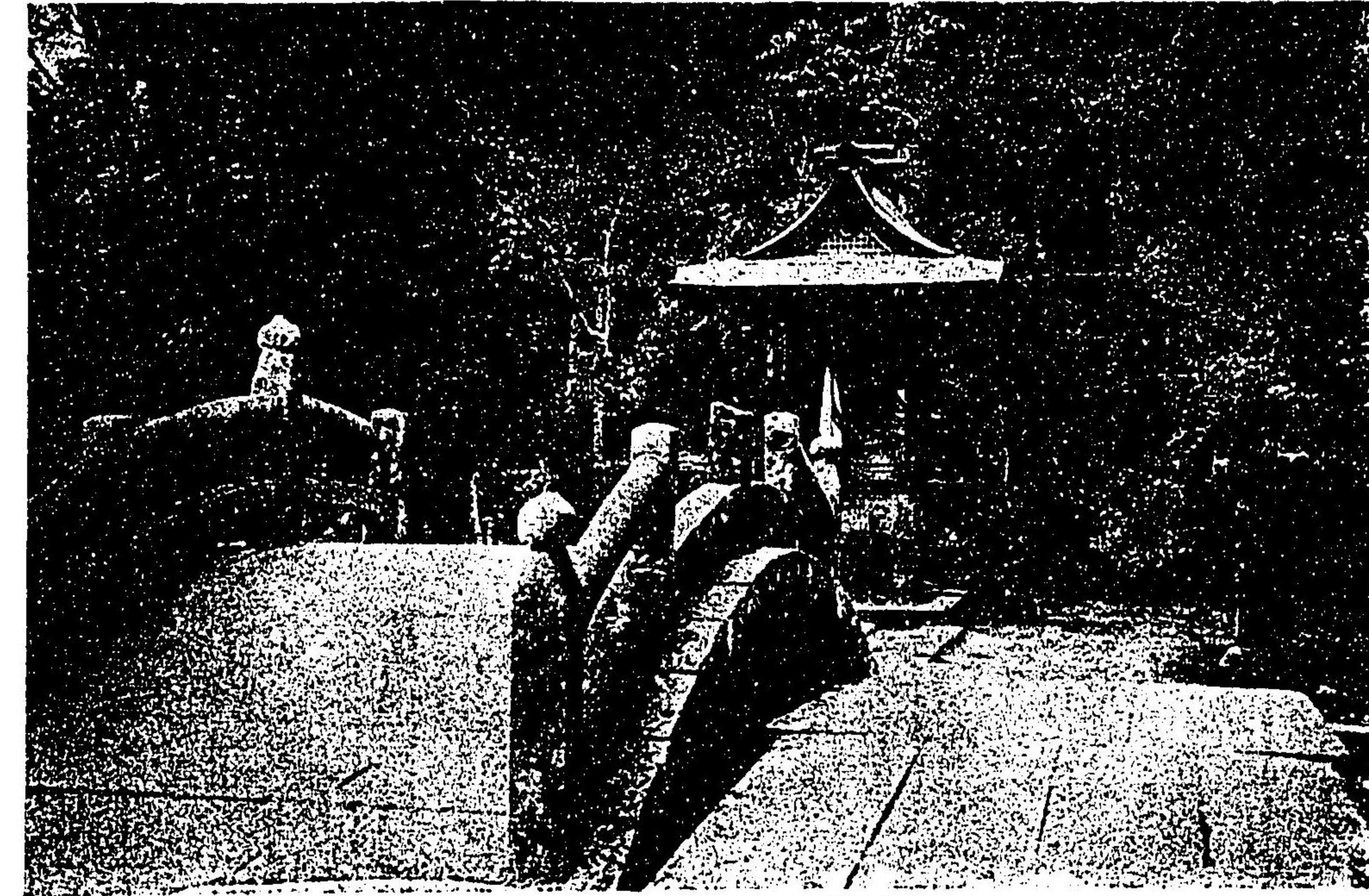


文 里 港



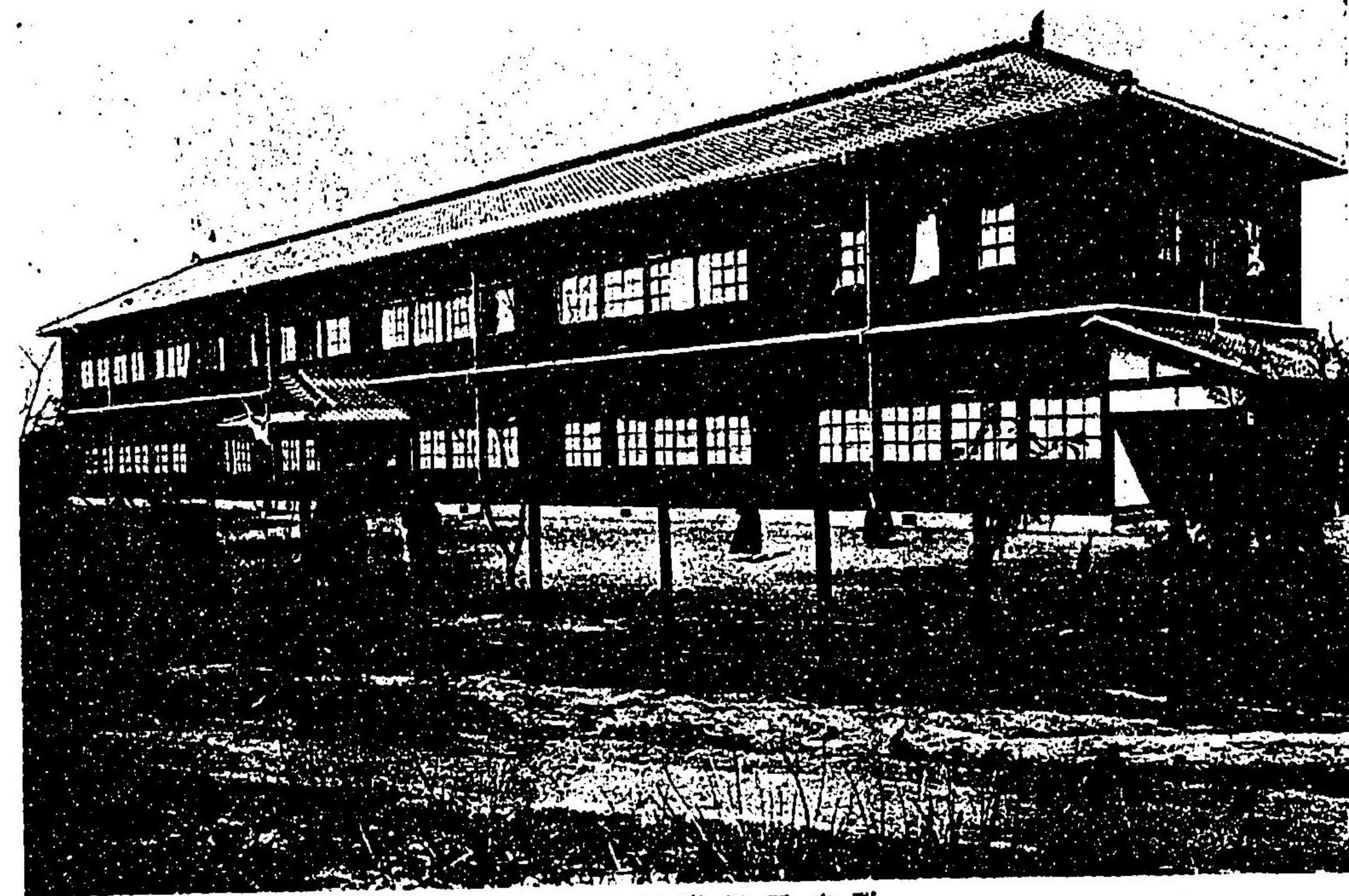


四 平 基 郡 役 所

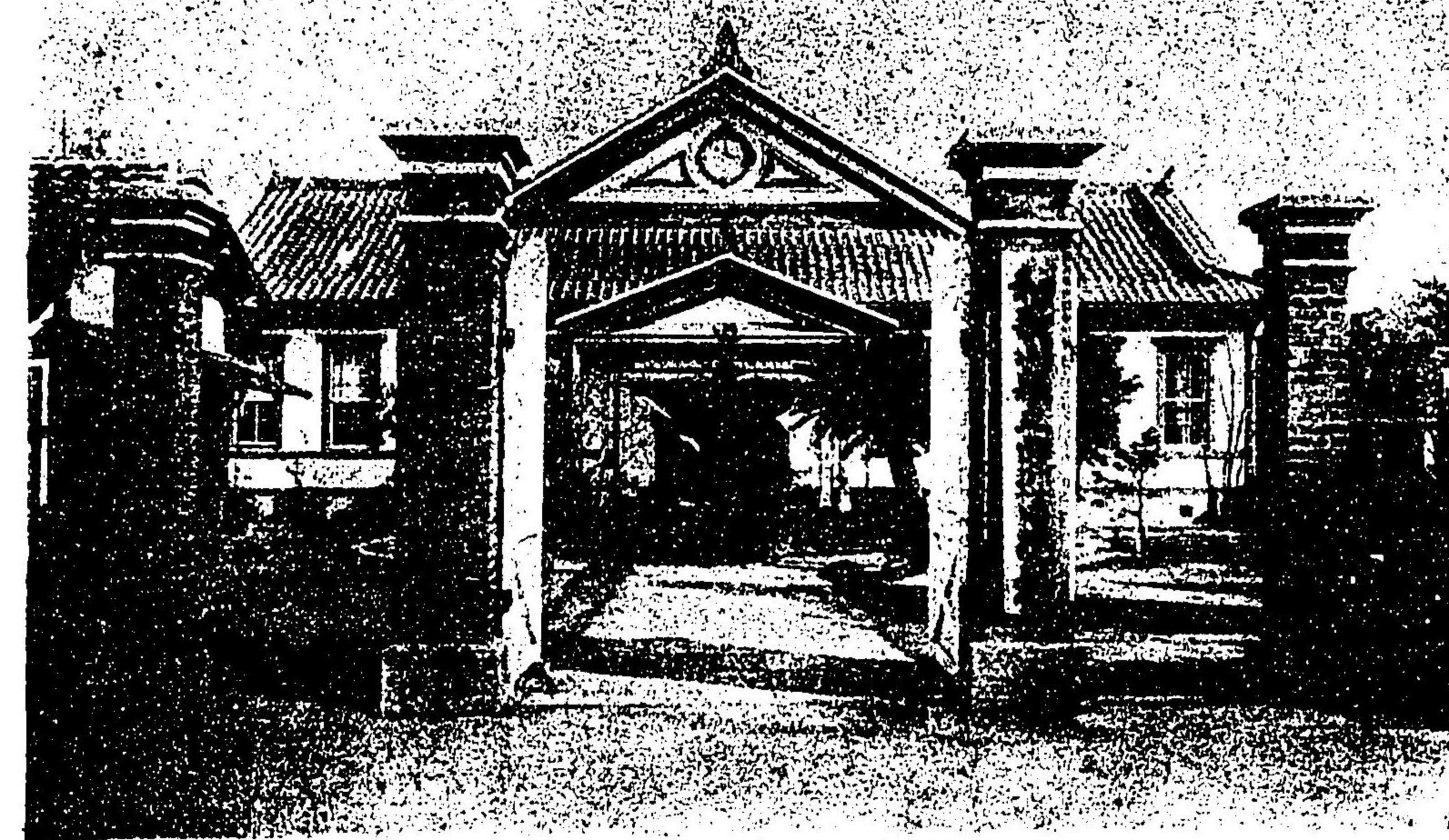


四 雜 社 末 殿 島 神 社



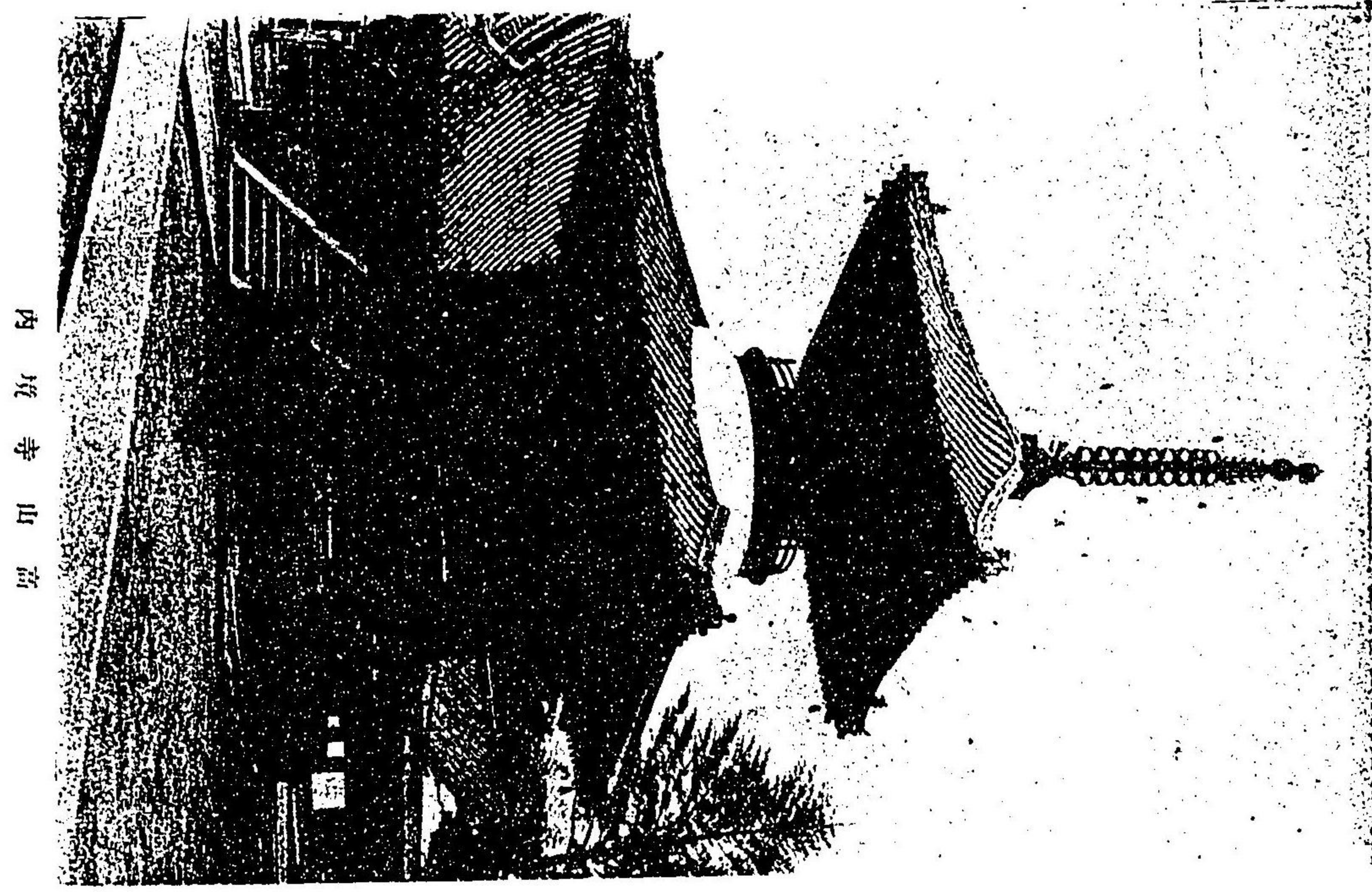


郡立田邊高等女學校

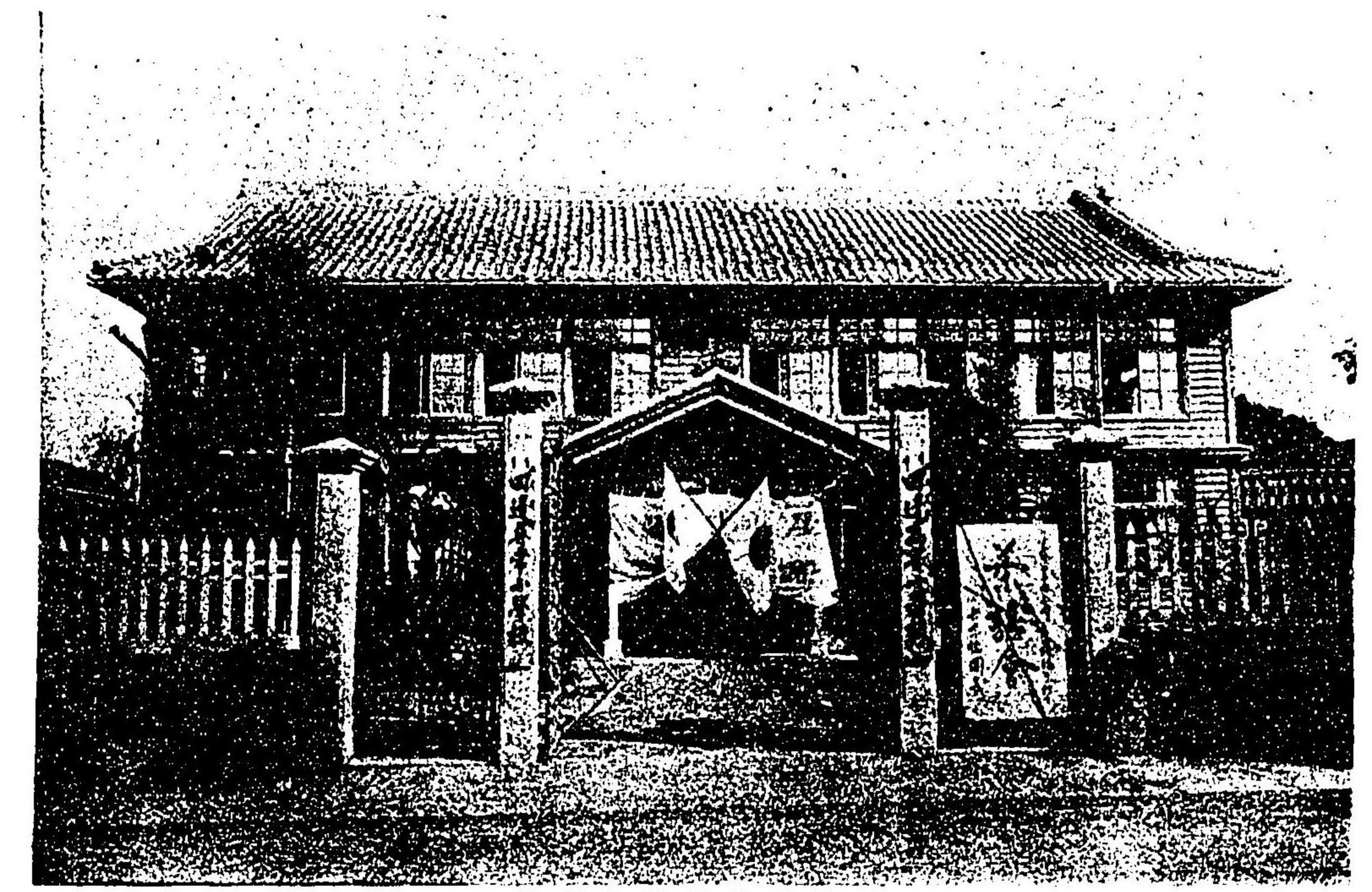


和歌山縣立田邊中學校





高 山 寺 境 内

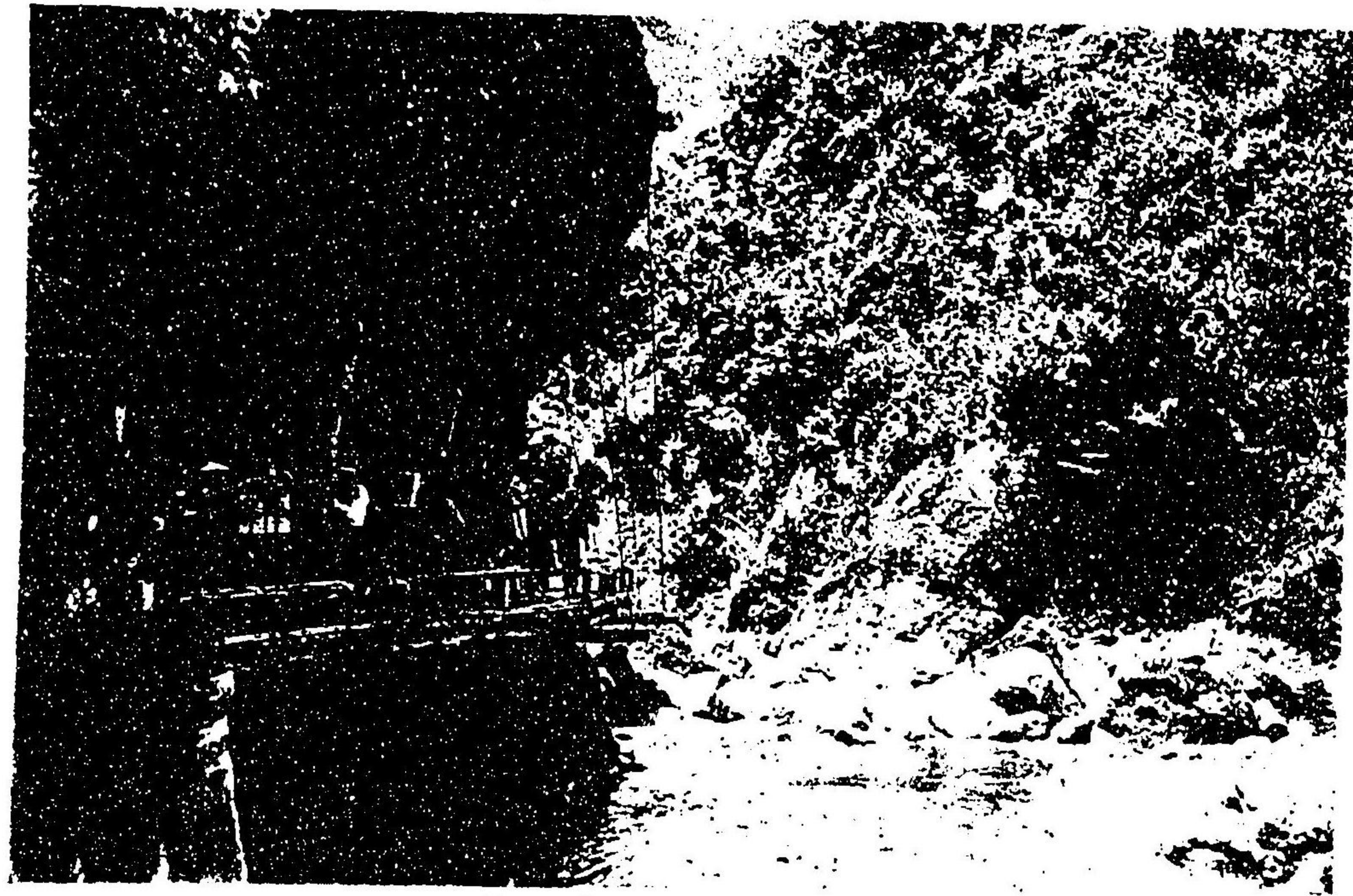


田 邊 高 等 尋 常 小 學 校





田邊河口



奇絶峽釣橋



### 湯崎温泉

湯崎温泉は又の名を銀山温泉とも呼び、田邊灣を臨み、戸銀山村に在り、眺望極めて佳く氣候温和なり、此地名所、舊跡甚だ多く、古は天皇の行幸し給へる事さへあり、御船

嶋、御幸の芝など、皆巡幸の遺蹟と傳へらる、古來よりこゝに七湯あり。

濱の湯、礫の湯、元の湯、疝氣湯、泡湯、屋形湯、崎の湯とてそれづくに醫治効能多く浴客いつととも絶る事なし、尙此の七湯の外に萬屋旅館に内湯あり。

#### ○温泉の主治効能

温泉醫治効用の大略を記さん  
に、諸種の加答兒性粘膜炎、即ち氣管支加答兒、咽喉加答兒、胆道加答兒、膀胱、慢性皮膚病、痔疾、經久微毒、重症の回復期、經久頑固の癩麻質斯、癩癩、月經不調、貧血萎黃病等起因せるヒステリー、便秘等には入浴して効多く  
其他婦人白帶下及び子宮病などは腔内注入薬となすべし。  
温泉外浴の度數は老人にて、一日一回、壯者三回位を、限度とすべし、内用は一日四オンス多きも十二ナンスを過すべからず、過度に入浴せば、嘔吐下痢を發する事あり注意すべし。

治 5. 14  
3. 瀬内交



○湯崎十二景

祇南海の撰へる七景と津田香巖の五景とを合せて十二景とす、面白き詩歌などあれどくたくしければ茲には略しつ、たゞ名稱をのみ掲げん。

○銀沙歩(白良濱)○金液泉(崎の湯)○芝雲石(千疊敷の南端にあり)○龍口巖(芝雲石の西にあり)○藥王林(元の湯の上にあり薬師如来を安置す)○平草原(東方の一高丘にして北方灣内の風景を紀の松島といふ)○行宮趾(御幸の芝)○御船山(白良濱の西にあり)○圓月島(俗にめがね岩といふ)○衝幹松(白良濱の上)○望洋阜(脊後の岡)○三段壁(崎の湯の南にあり)

○温泉碑

村内金徳寺畔に在り、湯崎温泉の由来及び風光等詳細を悉せり。

○旅館

は近年何れも増築又は改築を爲し、待遇頗る懇切なり、其旅館名は(順序不同)

- 有田屋(玉突屋の設備あり) 酒井屋
- 菊屋 田邊屋 角屋 柳屋 土佐屋
- 川口屋 名平屋 淡路屋 栢原屋 神崎屋
- 萬屋(内湯の設あり)高砂屋 日高屋 島澤
- 濱本 富田屋 市の瀬屋等なり

○宿泊料

は一晝夜三度賄にて

- 特等 金壹圓以上 一等 金八拾五錢
- 二等 金七拾五錢 三等 金六拾五錢
- 四等 金五拾五錢 五等 金四拾五錢
- 中飯一度の賄料は
- 金五拾錢 金參拾五錢 金貳拾五錢 金拾五錢

○湯崎郵便局

は本年四月開設し電報の受配を爲し郵便物は瀬戸郵便局より集配し毎日三回差立を爲す

○商店

は左記の數軒にして何れも誠實に日用諸雜貨并に土産品等を賣居れり。

- 酒井店 高砂屋 藤代屋 阿波屋 神崎屋
- 日高屋 高田屋 三木支店 (次第不同)

○渡し船

は毎日午前と午後に數回、田邊河口を發するものと、濱の湯下及び江津良(浪高き時は網不知よりす)より出るものとあり賃錢は田邊、江津良(又は網知らず)間拾五錢、田邊湯崎間貳拾錢にして別に「雇切」すれば壹圓六拾錢なり、尙ほ近きに小漁船の航廻を開始するならん

●田邊町

田邊町は和歌山を距る事、陸路二十六里餘、海路四十二裡あり、舊田邊藩の城下にして西牟婁郡第一の繁華地なり、東西六丁南北四丁餘、町名は



江川町 本町 紺屋町 片町 築町 福路町 北新町  
 南新町 今福町 上屋敷町 中屋敷町 下屋敷町 新屋  
 敷町の十三に分る、郡役所 裁判所 警察署 中學校  
 高等女學校 監獄署 小林區署 郵便電信局 銀行二  
 新聞社二等あり、既に電話開通し尙近く電燈會社、製氷  
 會社等の新設あり面目頓に改まらん。

○錦水城趾 會津河口にあり、旅館錦城館の附近の  
 地なり、國志安藤直次公の居城なりき。

○關雞神社 田邊町の産土神にして町の東端にあり、  
 社格は縣社にて熊野十二社權現を祀る、社殿莊嚴近郷の大  
 社なり。

○扇が濱、三壺崎 扇が濱は田邊灣に沿へる一帯の  
 海濱を名つけて云へるにて其形扇を展げるが如ければな  
 り、風光絶佳、白沙青松の間に徘徊すれば興趣盡るを知ら  
 ず、東すれば三壺崎とて、天然の理想的海水浴湯あり、三  
 伏の候、巖上に立つて清風に浴せば炎暑を知らず爽快此上  
 なし。

○鬼橋巖、文里港 三壺崎より尙東すれば天然の一  
 大石橋あり、是を鬼橋巖といふ中々に面白き眺め也、それ  
 より東南に向へば文里港あり風致扇が濱に似て港内水深く

波静かなり、風波荒き時は船舶の避難所たり。

○高山寺 京都仁和寺末にして山號を正南面山、院號  
 を蘇悉地院と云ふ、弘化十四年弘法大師熊野參詣の砌りこ  
 うを拓きたりと傳へらる、毎年三月二十一日御影供を修す  
 中々に盛んなり。

右の外動鳴溪、巖巖、奇絶峽、救馬谷觀音など近郷に名所  
 甚だ多く、田邊町を訪ふものは畫中にさまよふの感あらむ

●田邊町への順路

大阪より海路九十四哩の行程を大阪商船會社の紀州航路流  
 船に依れば、漸く十二時間にて田邊に達する事を得べく、  
 和歌山市まで汽車により電車にて和歌浦より乗船するも亦  
 便なり、尙汽船の大阪出港は毎日午后四時半と午後十時半  
 の二回あり、大阪難波驛より發する南海線は二時間餘にて  
 和歌山に着するを以て、腕車に倚り和歌山田邊間二十餘里  
 の行程も其間名所古跡に乏しからざれば、春秋の好季節こ  
 れに依るも亦なかく興多き事ならん、伊勢、尾張地方よ  
 り來ん人々は、熱田港より大阪に向ふべき、同じ商船會社  
 の流船にて百七十四哩を三十五時間にて田邊港に着するを  
 得べし、鳥羽港よりは百三十一哩二十五時間にて着すべし



尙田邊港には近く棧橋の設置を見るべく隨て旅客の便此上なからん。

### ●田邊町の旅館

旅客便宜の爲め左に旅館のあらましを案内せん(順序不同)

- 錦城館 (電話四六番)
- 錦水城趾中に在り眺望絶佳の良區を占む。
- 雙明館 (電話十番)
- 錦城館に隣接し近年の新築にして眺望亦佳良なり。
- 池久 (電話七番)
- ねじ正支店 (電話五番)
- 安村 (電話 番)
- 大黒屋 (電話五番)
- 一三三樓 (電話七番)
- 何れも海岸通りに軒を列べたるものにて、眺望の良きはもとより、錦城雙明兩館と共に汽船の乗降に便なり、此外まる八、錦水亭、戎屋などの旅舎も此附近に散在す。海岸通りと大濱通りの二ヶ所に、功能顯著なる椿湯あり、午前八時より浴客を待迎す。
- 五明樓 (電話八番)

中學校の北數十歩の處に在り、近年の新築にして庭園廣く風趣に富み、玉突場の設備あり。

- ぬし惣 (電話五二番)
- 本町警察署の眞向ひに在り。
- 京八 (電話四四番)
- ねじ正本店 (電話三三番)
- 伯耆屋 (電話 番)
- 何れも榮町郵便局附近に在り。
- かせ松 (電話七番)
- 北新町中程に在り。其他を略す

### ●田邊名産みやげもの

- 健胃滋養の蓬萊酒と壽保酒
- さらし葛
- 鯉節
- 酒盜
- なんば
- 焼蒲鉾類
- 鮮魚類の罐詰
- 細巻鮓
- 推茸
- いろいろの柑橘類

### ●汽船の發着と寄港地

○大阪商船會社汽船の大坂行は毎日午前七時と正午の二回にして七時發(名古屋線上り)の寄港地は南部、印南、御坊、比井、湯淺、和歌浦、和歌山、兵庫を経て午後九時半大阪に着す



正午發(三輪崎線)の寄港地は、南部、印南、御坊、比井、湯淺、箕嶋、鹽津、黒江、和歌浦、和歌山、加太を経て翌午前四時半大阪に着す。  
 ○下行き、名古屋線は、毎日午前八時に、三輪崎線は、午後一時に發す。

○郵便物差立時刻は、上下とも汽船出港と同時に、尙ほ陸路、和歌山間は午後七時、新宮間は午前二時と、午後二時なり。

○市外への電話料

通話料	呼出料	通話料	呼出料
名古屋 九拾五錢	貳拾錢	湯淺 貳拾錢	拾五錢
京都 五拾五錢	貳拾錢	御坊 貳拾錢	拾五錢
神戸 五拾錢	貳拾錢	田並 貳拾錢	拾五錢
大阪 四拾五錢	貳拾錢	串本 貳拾五錢	拾五錢
堺 參拾五錢	貳拾錢	下里 貳拾五錢	拾五錢
和歌山 貳拾五錢	拾五錢	古坐 貳拾五錢	拾五錢
和歌浦 貳拾五錢	拾五錢	勝浦 貳拾五錢	拾五錢
日方 貳拾五錢	拾五錢	三輪崎 貳拾五錢	拾五錢
箕島 貳拾五錢	拾五錢	新宮 貳拾五錢	拾五錢

○和洋雜貨、諸紙文房具、書籍、雜誌、教育用品、  
 山葉製 ヴァイオリン 手風琴、  
 其他 理化學機械、標本類、  
 樂器類 運動川具、卓子、椅子、  
 洋家具類、

田邊福路町

精品廉價 正札附

岡茂商店

電話 園十八番  
 大坂 一六九六番

綿、石油、硝子器類  
 大阪朝日新聞 販賣所  
 其他諸新聞

田邊榮町

岡猶商店

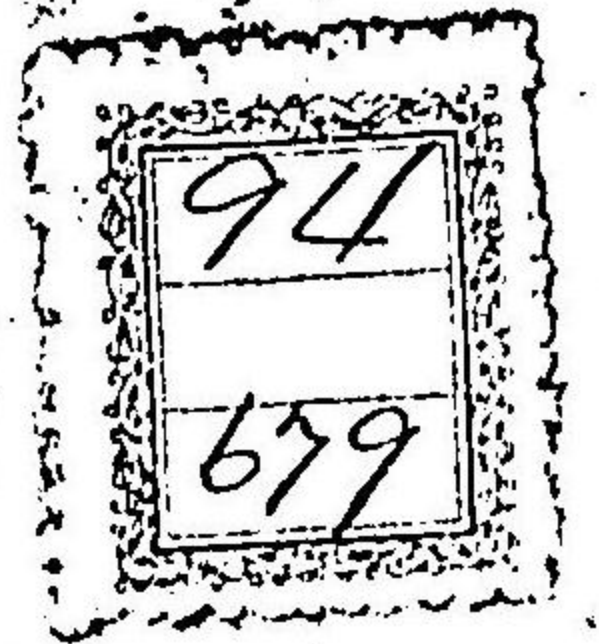
電話 園五十七番  
 大坂 二五八〇番

高等小間物、化粧品、

田邊福路町

岡茂西店

濱名長四郎





明治四十三年五月五日印刷  
明治四十三年五月十日發行

(定價 金拾五錢)

和歌山縣四半松原田邊町  
大字上段敷町百廿二番地

著作兼  
發行者

野口正一

印刷者

大阪西區新町北通一丁目三三  
武野淺吉

印刷所

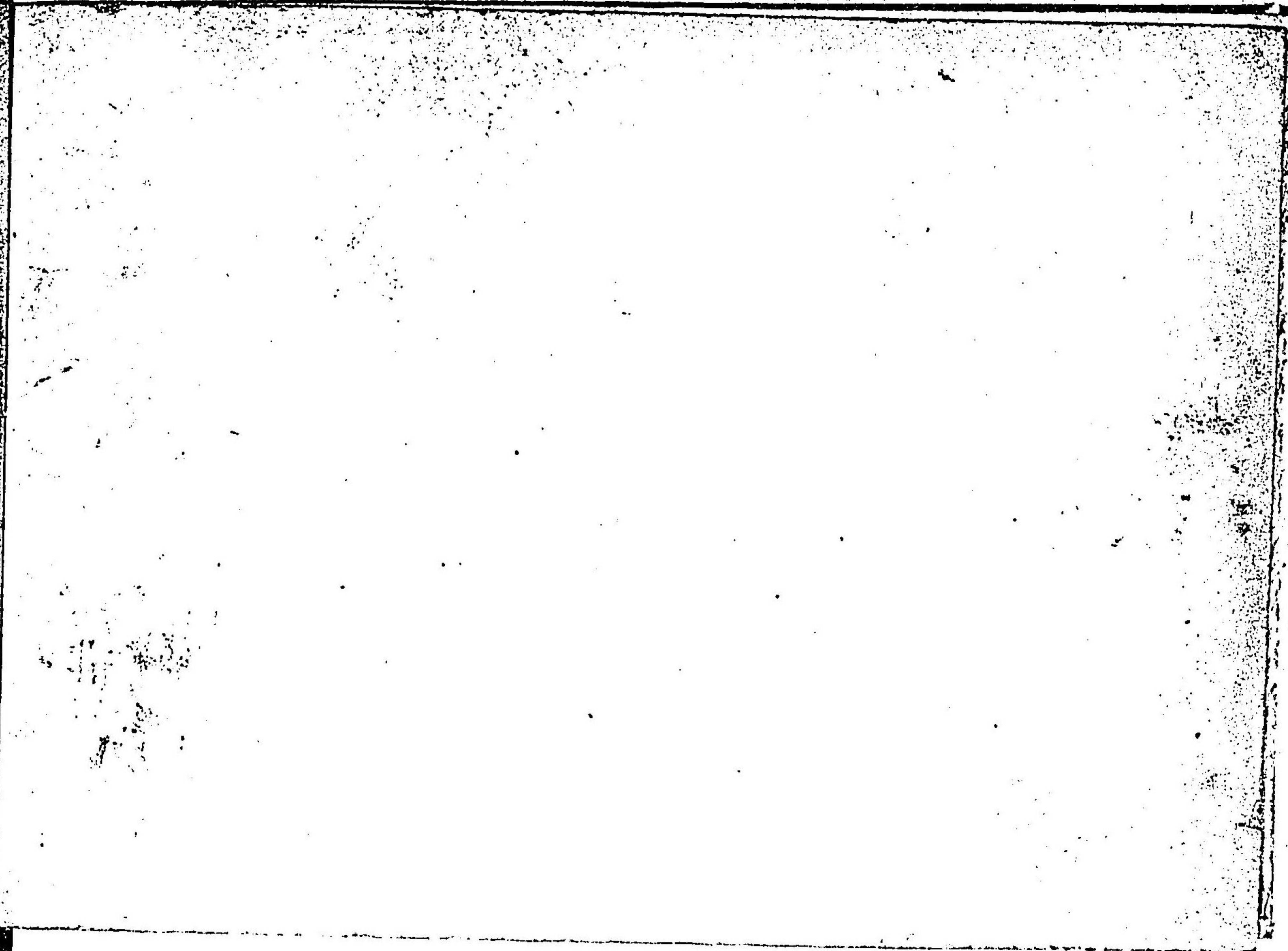
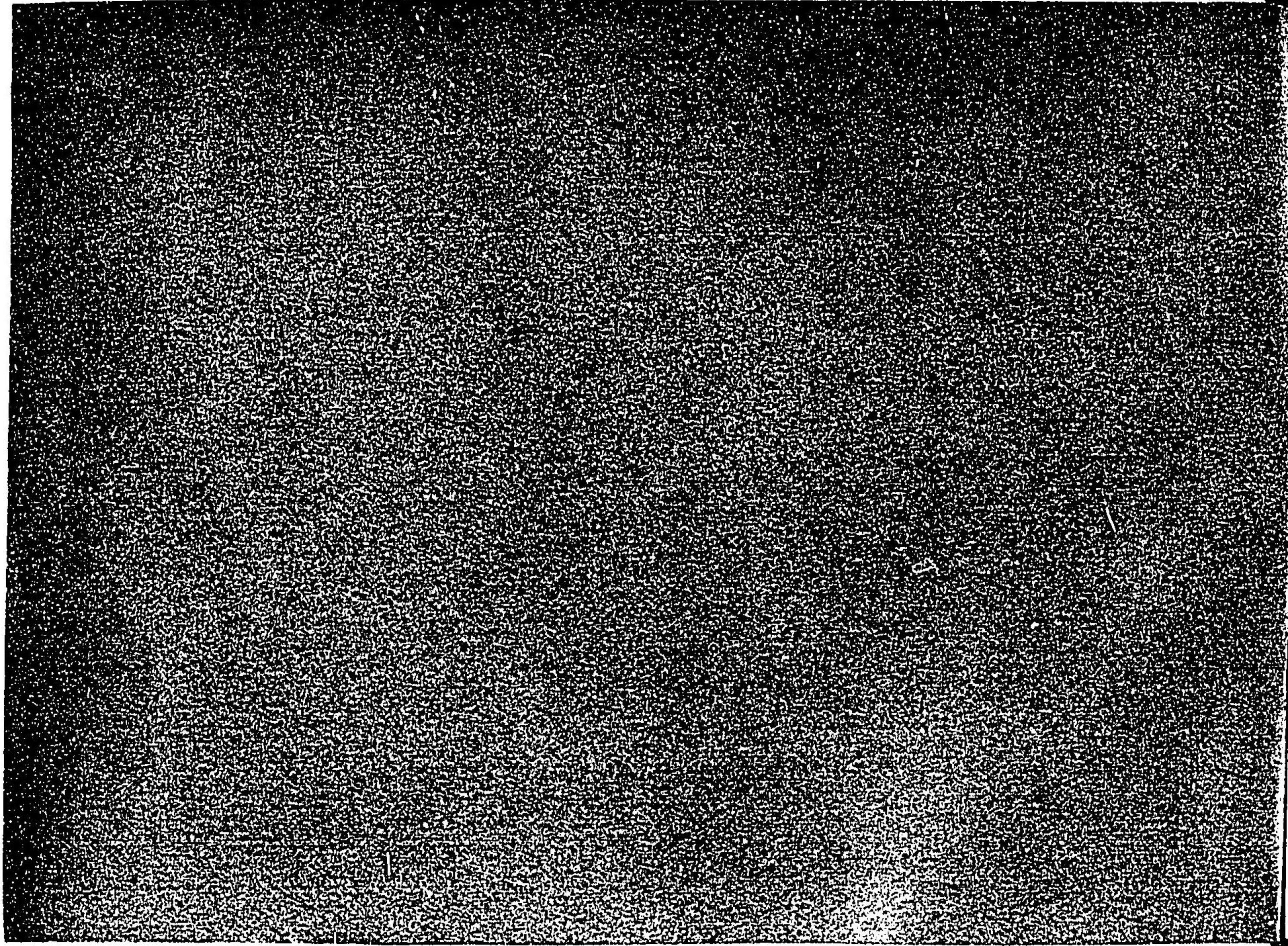
大阪西區新町北通一丁目三三五  
玉鳴館

紀伊田邊福路町

發行所

岡茂商店書籍部



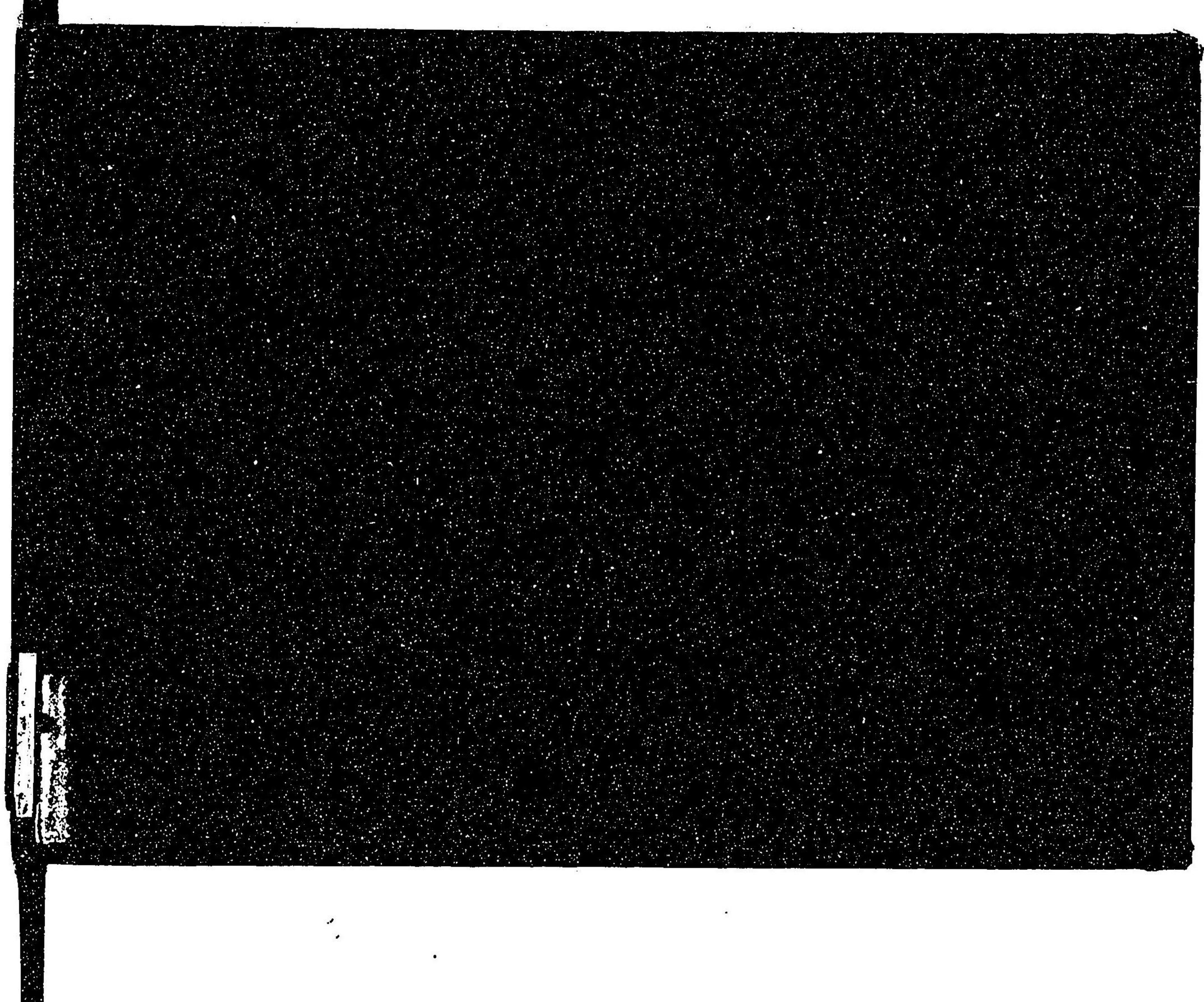




94

679







94  
679

025709-000-1

94-679

湯崎温泉案内

野口 正一 / 著

M43

ADC-3243

